

目標達成計画

作成日: 平成 24年 12月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の議事録が無く、検討された事柄について、会議に参加していない他の職員への経過の周知が出来ていない。 実地での調査以降、事務で会議議事録を作成していることが分かった。	会議議事録をグループホーム内で回覧し、会議で検討された内容を現場職員へ周知する。	これまでの運営推進会議議事録をグループホームで回覧するとともに、今後の会議議事録を職員が閲覧できるようにする。	1ヶ月
2	33	終末期の看取りへの対応について明確な方針が立っていない。	重度化した場合、看取りについての施設としての方針をまとめ、明文化する。	重度化した場合の受け入れ体制について職員で話し合う。家族から、受け入れや、望むケアについて意見を頂く。ハード面での改装を考慮し、法人としての受け入れ体制について検討する。 受け入れ可能な状態を明文化し、家族へ周知する。	12ヶ月
3	52	施設内の装飾等が殺風景な印象を受ける。	グループホーム入居者、家族などに意見を聞き、季節を感じられる装飾や季節の草花を飾るなどして、家庭的な雰囲気を演出できるようにする。	入居者に生活空間の印象を聞き、飾ってみたい者などの提案をして頂く。入居者家族へホームの印象を伺う。グループホームとして相応しい装飾等のアイデアを取り入れながら、居心地の良い環境を作る。	12ヶ月
4	52				ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。